

社会福祉法人 河北会

令和3年度 事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

特別養護老人ホーム さくらぎの里

さくらぎの里短期入所生活介護事業所

さくらぎの里居宅介護支援事業所

グループホーム さくらぎ

令和3年度事業報告書

1. 法人の経営概要

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス対策強化の中で、前年度の取り組みを維持する1年となりました。

新型コロナワクチン接種は、利用者及び職員とも予定された3回接種を終了し、陽性者0名で推移しております。また、盛岡市による不定期PCR検査（職員対象）においても、全員陰性となっています。

加えて、「岩手県災害派遣福祉チーム」の派遣に関する協定を締結するとともに、盛岡市内における新型コロナクラスター発生施設の後方支援に係る職員の派遣を登録したところであります。

令和3年度の介護保険法改正に伴う防災規程及び令和4年度施行の育児・介護休業に関する規程等の整備を図りました。

新たな取り組みとして、「いわて女性活躍推進企業等」（ステップ1）の認定を受け、更なる女性の職場環境整備に寄与すべくステップ2の認定取得に向け研鑽しているところであります。

利用者の生活環境整備として、特別養護老人ホームさくらぎの里の介護用ベッド50台を更新して安全・安心な生活の一助を確保し、一方職員処遇改善については、国の施策として「介護職員処遇改善支援補助金」が新たに創設され、従来処遇改善加算及び特定処遇改善加算に加えて職員処遇改善を図っているところであります。

地域貢献活動としては、経済的支援や各種制度、サービスの利用支援に繋げる目的である社会福祉法人協働による「IWATEあんしんサポート事業」として1件（生活困窮者支援1件）の活動実績と、地域活動への参加は高松地区子ども食堂の開所に伴い、「介護教室」（相談）として1件の実績を数えました。

令和3年度事業報告に当たり、新型コロナウイルス感染症対策に関しての制限等に対し、施設の利用者並びに家族をはじめ、関係者、地域の皆様から、温かいご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

2. 法人の運営

(1) 役員を選任

① 理事

- (1) 雪ノ浦 昭子（再任）
- (2) 駒木 勝一（再任）
- (3) 佐々木 博（再任）
- (4) 鈴木 聖子（再任）
- (5) 雪ノ浦 需（再任）
- (6) 高橋 昭三（再任）

② 理事長

雪ノ浦 昭 子 (重任)

③ 監事

(1) 吉 田 富 榮 (再任)

(2) 菊 池 博 (再任)

※ 任期 令和3年度定時評議員会終結の時から令和5年度定時評議員会
終結の時まで

④ 評議員

(1) 北 田 治 子 (再任)

(2) 佐 藤 敏 弘 (再任)

(3) 熊 谷 佳 子 (再任)

(4) 高 橋 繁 雄 (再任)

(5) 露 崎 恵美子 (再任)

(6) 山 井 英 子 (再任)

(7) 村 上 貢 一 (再任)

※ 任期 令和3年度定時評議員会終結の時から令和7年度定時評議員会
終結の時まで

⑤ 苦情解決第三者委員任命

(1) 露 崎 恵美子

(2) 山 井 英 子

※ 任期 令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

(2) 施設修繕及び備品購入

① 施設修繕 2,241,114 円

② 介護用ベッド 8,826,400 円

③ 事務備品 559,460 円

④ 厨房器具 693,000 円

※ 整備状況の詳細については、【別紙1】の一覧表のとおり

(3) 苦情対応委員会

利用者の権利を擁護し適切な施設運営を行うため、苦情受付窓口担当者及び苦情解決責任者を配置し、計3回開催した。

苦情件数については、年間通じて特別養護老人ホーム0件、短期入所生活介護事業所3件、居宅介護支援事業所0件、グループホーム0件の計3件の苦情があった。

委員会開催日及び苦情内容は、次のとおりである。

開催期日	所管	苦情内容
3. 8. 19		苦情受付件数0件のため、過去6か月の状況を報告
3. 10. 12	短期	(1) 薬の袋について
4. 2. 17	短期	(2) 面会制限について (3) 連絡先の統一について

苦情(1)については、家族より「他の利用者の薬の袋が代用され、名前が透けて見える。」と指摘を受け、今後は薬の管理に他の利用者の袋を代用しないことを伝え、謝罪した。

苦情(2)については、家族に新型コロナウイルス感染防止対策としての面会制限の連絡が行き届かず、面会に来た家族より苦情を受け付けた。再発防止に努めることを説明し、謝罪した。

苦情(3)については、身元引受人が体調不良となり連絡先が変更となったものの周知されておらず、数回にわたり連絡をして苦情となった。連絡先を統一することを伝え、謝罪した。

(4) 人材確保・継続雇用について

人材確保については介護業界全体の課題となっているが、当法人では人材確保の具体的手段として県社協福祉人材センター又はハローワークを活用し、職員採用は6名（退職者は5名）であった。

なお、実習生の受け入れについては、新型コロナウイルス感染症対策として積極的に展開することができなかった。

(5) 職員の資格取得について

令和3年度は、特養介護士4名及びグループホーム介護士2名が、介護福祉士国家試験に合格した。

加えて、医療的ケア第一号、同第二号研修を特養介護士6名が修了し、資格を取得した。

(6) 介護職員に係る処遇改善

令和3年度は、介護処遇改善加算及び特定介護処遇改善加算に加え、介護職員処遇改善支援補助金の創設により全職員（一部職員を除く）の処遇改善を図った。

総額 22,773,000円（前年度対比▲192,300円）

3. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

回	年月日	場 所	出席者	議 案 等
1	3.5.28	3 階 地 域 交 流 セ ン タ ー	理事 6 名 欠席 0 名 監事 2 名	報告第 1 号 社会福祉法人河北会理事会における報告事項について
				報告第 2 号 新型コロナウイルスワクチン接種状況の経緯について
				議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人河北会事業報告に関し、承認を求めることについて
				議案第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人河北会決算に関し、承認を求めることについて
				議案第 3 号 令和 3 年度社会福祉充実計画の策定について
				議案第 4 号 社会福祉法人向け役員賠償責任保険の更新について
				議案第 5 号 社会福祉法人河北会組織規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 6 号 社会福祉法人河北会職員給与規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 7 号 社会福祉法人河北会評議員候補者の推薦について
				議案第 8 号 社会福祉法人河北会理事候補者の推薦について
				議案第 9 号 社会福祉法人河北会監事候補者の推薦について
議案第 10 号 令和 3 年度社会福祉法人河北会定時評議員会の議題に関する件について				
2	3.6.22	3 階 地 域 交 流 セ ン タ ー	理事 6 名 欠席 0 名 監事 2 名	報告第 1 号 令和 3 年度第 1 回評議員選任・解任委員会審議結果の報告について
				報告第 2 号 社会福祉法人河北会役員任期満了に伴う理事及び監事の選任結果の報告について
				議案第 1 号 社会福祉法人河北会理事長の選任について

3	3. 9. 29	3 階 地 域 交 流 セ ン タ ー	理事 6 名 欠席 0 名 監事 2 名	報告第 1 号 社会福祉法人河北会理事会における報告事項について
				報告第 2 号 新型コロナワクチン接種状況等の経緯について
				議案第 1 号 特別養護老人ホームさくらぎの里介護用ベッド等の購入業者の選定について
				議案第 2 号 令和 3 年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支補正予算（第 1 次）の同意について
				議案第 3 号 令和 3 年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算（第 1 次）の同意について
				議案第 4 号 社会福祉法人河北会職員給与規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 5 号 社会福祉法人河北会非正規職員待遇及び給与等に関する規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 6 号 さくらぎの里防災管理規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 7 号 社会福祉法人河北会宿直規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 8 号 令和 3 年度第 2 回社会福祉法人河北会評議員会の議題に関する件について
4	3. 10. 19	3 階 地 域 交 流 セ ン タ ー	理事 5 名 欠席 1 名 監事 2 名	議案第 1 号 特別養護老人ホームさくらぎの里介護用ベッド等の購入業者の決定並びに購入契約の締結に関し、議決を求めることについて
				議案第 2 号 社会福祉法人河北会役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 3 号 社会福祉法人河北会旅費規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第 4 号 社会福祉法人河北会顧問設置規程の一部を改正する規程の設定について

				議案第5号 社会福祉法人河北会預かり金取扱規程の廃止について
				議案第6号 介護老人福祉施設さくらぎの里の金品など私物管理要領の廃止について
				議案第7号 令和3年度第2回社会福祉法人河北会評議員会の議題に関する件について
5	4.1.26	3階地域交流センター	理事6名 欠席0名 監事2名	議案第1号 社会福祉法人河北会定款細則の一部を改正する細則の設定について
				議案第2号 社会福祉法人河北会文書管理規程の設定について
				議案第3号 社会福祉法人河北会事務決裁規程の設定について
				議案第4号 社会福祉法人河北会公印規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第5号 社会福祉法人河北会被服貸与規程の設定について
				議案第6号 社会福祉法人河北会車両運行管理規程の一部を改正する規程の設定について
6	4.3.17	3階地域交流センター	理事6名 欠席0名 監事2名	報告第1号 社会福祉法人河北会理事会における報告事項について
				報告第2号 新型コロナウイルスワクチン接種（第3回目）の状況について
				議案第1号 令和4年度社会福祉法人河北会事業計画の同意について
				議案第2号 令和4年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支予算の同意について
				議案第3号 令和3年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支予算の同意について
				議案第4号 令和3年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支補正予算（第2次）の同意について

				議案第5号 令和3年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算（第2次）の同意について
				議案第6号 社会福祉法人河北会経理規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第7号 社会福祉法人河北会職員給与規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第8号 社会福祉法人河北会非正規職員待遇及び給与等に関する規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第9号 社会福祉法人河北会育児・介護休業に関する規程の一部を改正する規程の設定について
				議案第10号 令和3年度第3回社会福祉法人河北会評議員会の議題に関する件について

(2) 評議員会の開催状況

回	月 日	場 所	出席者	議 案 等
1	3.6.22	3階地域交流センター	評議員7名 欠席0名 監事2名	報告第1号 社会福祉法人河北会評議員任期満了に伴う評議員の選任結果の報告について
				報告第2号 令和2年度社会福祉法人河北会事業報告について
				議案第1号 令和2年度社会福祉法人河北会決算に関し、承認を求めることについて
				議案第2号 令和3年度社会福祉充実計画の策定に関する承認について
				議案第3号 社会福祉法人河北会理事の選任について
				議案第4号 社会福祉法人河北会監事の選任について
				議案第5号 令和3年度理事及び監事に対する報酬の年間支給総額の範囲について

2	3.11.2	3階地域交流センター	評議員7名 欠席0名 監事2名	報告第1号 新型コロナワクチン接種状況等の経緯について
				議案第1号 令和3年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支補正予算(第1次)について
				議案第2号 令和3年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算(第1次)について
				議案第3号 理事及び監事に対する報酬の年間支給総額の範囲の条文化について
3	3.3.29	3階地域交流センター	評議員7名 欠席0名 監事2名	報告第1号 「いわて女性活躍企業等」の認定について
				報告第2号 新型コロナワクチン接種(第3回目)の状況について
				議案第1号 令和4年度社会福祉法人河北会事業計画の承認について
				議案第2号 令和4年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支予算の承認について
				議案第3号 令和4年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支予算の承認について
				議案第4号 令和3年度特別養護老人ホームさくらぎの里拠点区分会計収支補正予算(第2次)の承認について
				議案第5号 令和3年度グループホームさくらぎ拠点区分会計収支補正予算(第2次)の承認について

(3) 出納調査

実施日	内 容	調査対象期間	調査員	所 見
3.5.18	令和2年度全期	R2.4.1~R3.3.31	2名	指摘事項なし
3.9.6	令和3年度第1四半期	R3.4.1~R3.6.30	2名	指摘事項なし
3.12.20	令和3年度第2四半期	R3.7.1~R3.9.30	2名	切手受払残高に未記入あり

(4) 監事監査

実施日	内 容	監査対象期間	監査員	所 見
3.5.18	決算監査	R2.4.1~R3.3.31	2名	指摘事項なし

4. 特別養護老人ホームさくらぎの里及びさくらぎの里短期入所生活介護事業所の運営

(1) 利用稼働率

① 特別養護老人ホームさくらぎの里

利用者の退所は、死亡退所5名ほか長期入院退所25名を数え、年間稼働率は91.4%（前年度対比▲3.5%）となった。

② さくらぎの里短期入所生活介護事業所

新規利用者が倍増となり、定員超過による特別養護老人ホーム（以下「特養」という。）の空ベッドを利用した「空床ショート」利用者（延べ17日）が1日最大2名となる期間もあったが、長期利用者の減少により年間稼働率は78.6%（前年度対比▲0.2%）となった。

※ 上記内容の根拠資料については、利用者状況【別紙2】のとおり

(2) 利用者決定委員会

入所に関しての透明性、公平性を確保するため、利用者決定委員会を計4回開催し、25名（前年度比同数）の利用者が入所した。

開催数	開催日	認定者	入所者数
第1回	3.4.9	13名	6名
第2回	3.7.15	13名	6名
第3回	3.10.14	13名	8名
第4回	4.1.13	12名	5名
計		51名	25名

(3) 総合防災訓練の実施状況

実施月	想定内容	訓練内容	参加者
3.6.18	日中想定	総合訓練 (消火・通報・避難誘導・消火器・屋内消火栓使用方法)	利用者 6名 職員 32名
3.9.1	地震想定	シェイクアウト訓練 (盛岡市主催)	31名参加
3.12.8	夜間想定	総合訓練 (通報・避難誘導・消火器使用方法)	利用者 6名 職員 17名

(4) 広報委員会

- ① 広報「さくらぎだより」は、今年度より法人全体で発行し、定期的に4回発行することができた。

- ② ホームページは、行事等が少なく写真を載せる回数は減少した。また、担当者養成の取組ができなかった。

(5) 安全委員会・事故対策委員会・身体拘束委員会・感染症対策委員会・安全衛生委員会の活動

① 安全委員会

毎月第四木曜日に開催し、課題解決に取り組んでいる。

令和3年度は、新たに介護チェックリストを用いて、介護の基本が出来ているか各々で振り返りを実施した。結果、意識して安全なケアを行うようになった。

② 事故対策委員会

令和3年度は、事故2件（転倒1件、骨折1件）のほかヒヤリハットは124件（前年度100件、前々年度151件）と前年度対比24件増となった。年々事故防止に対する意識の向上、目配り等が浸透しつつあるが、職員の異動や利用者の入退所が多く増加したと思われる。

また、利用者の認知機能の低下に伴い、センサーマットの活用を図り、施設内でリスクマネジメント研修を実施し、職員に安全な業務を周知した。

※ 令和3年度事故・ヒヤリハット報告の発生件数等の詳細については、【別紙3】のとおり

③ 身体拘束委員会

3か月に1回第三木曜日に開催し、スピーチロック及びアンガーマネジメントの研修を実施した。

加えて、身体拘束指針の見直しに着手した。

なお、年間を通じ身体的拘束はしておらず身体的拘束を検討しなければならないケースもない。

④ 感染症対策委員会

3ヶ月に1回第二木曜日に開催し、新型コロナウイルス感染症の発生時の対応及び吐物処理の実技研修を実施した。

感染症対策の一環として、毎日の職員と利用者の健康チェック及び職員の行動履歴並びに介護対応者の記録を実施した。

加えて、新型コロナウイルス感染症に関する業務継続計画の策定に着手した。

⑤ 安全衛生委員会

感染リスクのある職員や体調不良者は予防的出勤停止を励行し、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者対応についても盛岡市保健所の意見を伺い、施設内における感染予防に取り組んだ。

また、職員の健康診断（所見者36名）及びストレスチェックを実施し、保健指導（対象者16名）により生活習慣病の予防に努めた。

(6) 防災対策委員会

総合避難訓練計画の策定等のほか、災害発生時の業務継続計画の策定に着手した。

(7) 研修

新型コロナウイルス感染症対策により、外部研修はオンラインでの研修が多くみられた。

施設内での研修は新型コロナウイルス感染症対策により、例年より内部研修を行える月が少なかった。

① 施設内研修実施状況

開催日時	研修内容		講師
5/14 ----- 5/28	身体拘束①	スピーチロックの理解	藤田統括係長
6/11	緊急時対応	急変等の動き等	藤田統括係長
8/6 ----- 8/27	リスクマネジメント	誤嚥を防ぐ食事介助方法 正しい姿勢保持	山崎機能訓練指導員 藤田統括係長
10/8 ----- 10/29	身体拘束②	アンガーマネジメント	藤田統括係長
11/19 ----- 11/26	虐待防止	虐待の種類と心構え	藤田統括係長
3/1/14 ----- 1/28	研修報告会	リスクマネジメント	小笠原介護士 藤原介護士
2/18	口腔ケアと 感染防止	QOLを高める口腔ケア 感染症対策	中田ユニットリーダー 小野寺主任看護師

② 施設外研修受講状況

開催日	主催	テーマ	参加職種	参加者
5/7	盛岡市介護保険課	認定調査員新規研修	介護支援専門員 生活相談員	加藤 仁 瀧澤愛華
6/3	岩手県社会福祉事業団	リスクマネジメント研修 基礎編	介護士	小笠原正樹 藤原友理奈
6/7.14.21 8/10～12 8/18～19	岩手県社会福祉協議会	医療的ケア	ユニットリーダー 介護士	佐藤聡洋 畑中光代
6/16	岩手県社会福祉事業団	虐待防止基礎研修	介護士	野田悠介
6/21～25 6/28～7/25 7/30	いきいき岩手支援財団	認知症介護実践者研修	介護士	佐藤義久

6/24	全国老人福祉施設協議会	安全対策担当者養成研修	統括係長	藤田ミ子
6/24	(株)モルテン	リモートセミナー	機能訓練指導員	山崎 藍
6/29	岩手県社会福祉協議会	あんしんサポート相談員養成研修	事務長	雪ノ浦需
7/5～6	岩手県社会福祉事業団	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職コース	上席介護士	大堂公晋
7/7～8 8/17.24～26 8/30～31	岩手県社会福祉協議会	医療的ケア研修	介護士	佐藤義久
7/9	介護労働安定センター	QOLを高める口腔ケア	ユニットリーダー	中田信孝
7/13～14	岩手県社会福祉事業団	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	ユニットリーダー	大畑英弘
7/27～28	岩手県社会福祉協議会	福祉施設の自己評価・第三者評価研修会	上席介護士	大堂公晋
8/6～7	岩手県災害福祉広域支援推進機構	令和3年度岩手県災害派遣福祉チーム登録研修	統括係長 主任ユニットリーダー	藤田ミ子 小林日和
8/20～11/20	岩手県社会福祉協議会	医療的ケア研修	介護士	佐藤由紀子 岩崎ユカ 廣内明香
8/23	(株)医療経営研究所	介護事業所における減災・防災対策研修	事務員 GH管理者	中村健太郎 三上則子
8/25	全国老人福祉協議会	介護ロボット・ICT導入事例	機能訓練指導員	山崎 藍
9/11 9/18～11/18	岩手県社会福祉協議会	医療的ケア(半固形栄養剤)	上席介護士 ユニットリーダー ユニットリーダー	大堂公晋 大畑英弘 中田信孝
9/14	介護労働安定センター	介護職員等特定処遇改善加算の取得と活用方法	事務員	小林 新
9/22	盛岡地区介護支援専門員協議会	盛岡地区介護支援専門員協議会研修会	主任介護支援専門員	石垣志乃
9/24	岩手県社会福祉協議会	介護支援事業所におけるBCP作成支援研修	事務員	中村健太郎
10/5～6	いきいき岩手支援財団	認知症対応型サービス事業管理者研修	介護士	佐藤義久

10/6～7	岩手県立大学	社会福祉法人役員研修	事務長	雪ノ浦 需
10/11	岩手県社会福祉協議会	生活困窮者支援研修会 (あんしんサポート相談員スキルアップ研修会)	生活相談員	瀧澤愛華
10/25～26	岩手県立大学	特定課題・相談支援研修	生活相談員	瀧澤愛華
10/29	岩手県環境生活部	いわて女性の活躍応援セミナー	統括係長	藤田ミ子
11/4～5	岩手県社会福祉事業団	福祉職員キャリアパス対応職員障害研修課程 初任者編	GH 介護士	佐々木喜美江
11/12	岩手銀行	組織・人材採用戦略オンラインセミナー	事務長	雪ノ浦 需
11/16	日本福祉用具供給協会	資質向上研修会	介護士 GH介護士	鈴木真貴子 木村由香
11/18	いきいき岩手支援財団	認知症介護基礎研修	介護士	小森郁生
11/19	岩手県高齢者福祉協議会21世紀委員会	いわて介護施設職員研修会	統括係長 上席介護士	藤田ミ子 大堂公晋
11/29	岩手福祉サービス運営適正化委員会	福祉サービス苦情解決情報交換会	施設長 介護支援専門員	雪ノ浦昭子 川原崇生
12/22 3/2/9～10	日本ユニットケア推進センター	ユニットケア研修会	ユニットリーダー	吉田健太
12/14.17	いわての保健福祉支援研究会	ケアリスクマネジメント講習会	GH管理者	三上則子
1/31	岩手県社会福祉協議会	第2回盛岡地域福祉サービス苦情解決情報交換会	生活相談員	瀧澤愛華
2/3	岩手県社会福祉気宇議会	社会福祉法人の事業展開のあり方に関する研修会	事務長	雪ノ浦需
3/8	全国老人福祉施設協議会	科学的介護情報システム(LIFE)研修会	施設長 生活相談員 介護支援専門員 GH管理者	雪ノ浦昭子 瀧澤愛華 川原崇生 三上則子

3/15	中央ブロック 高齢者福祉協 議会	給食研究会	調理師	岩葉久美子
3/18.23	いきいき岩手 支援財団	岩手県高齢者権利擁護 看護実務者研修	主任看護師	小野寺寿美子
3/18	介護労働安定 センター	事業者支援セミナー	施設長	雪ノ浦昭子

(8) 実習生の受入状況

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、全ての受け入れを中止した。

(9) ボランティア・福祉体験受け入れ及び行事等の状況

① 受入状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れを中止した。

② 施設行事・ユニット行事実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、外出や外部の方を招いての行事は中止とした。3階地域交流センターにおいて、夏祭りや敬老会等を実施した。

※ ユニット行事実施状況については、【別紙4】のとおり

(10) 利用者家族交流会について

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。

(11) 生活介護

① 個別ケアとサービス向上への取り組み

介護記録支援システム「ほのぼの」を運用し、利用者個々の状態把握に努め、各職種と情報共有しながら連携を図り、より良いサービスを提供できるよう創意工夫を行っているが、入所者の重度化により入退院も多く継続的な介護管理及びADLの維持に繋がらないケースが散見された。

また、令和3年度から介護保険制度に導入された「L I F E」の活用、検証等が行き届かなかった。

コロナ禍の中、オンライン面会での家族とのコミュニケーションの確保に努めた。

(12) 医務

緊急時対応マニュアルを基に研修を通して、新型コロナウイルス感染症対策の周知に努めた。

協力病院とは、定期薬処方、定期健康診断及び回診等により、情報を提供し連携を図った。他職種とのカンファレンスにより利用者の情報を共有し、早期発見、受診につなげて重症化の防止に努めた。

家族とは、新型コロナウイルス感染症対策のため面会制限が継続されたことから、利用者の状態を電話などで報告し信頼関係の構築に努めた。

インフルエンザ予防接種の実施、汚物処理実演、新型コロナウイルス発生時の模擬訓練を通じ、感染防止に努めた。

ヒヤリハットの内容を分析し、再発防止策を共有により再発防止に努めた。

「医療的ケア」に6名の介護職員が参加して、知識、技術を習得し修了した。

また、既に取得している介護職員に対しても適正な姿勢の保持など指導して、利用者の健康管理に努めた。

薬の管理については、苦情を受け再発防止のため看護管理業を見直しを図った。

(13) 機能訓練

① 利用者の身体機能維持と介護予防活動の活性化

機能訓練指導員が各利用者の身体機能を評価し、その後のケースカンファレンスにおいて他職種と検討を行い、担当者会議などを通じ本人又は家族に機能訓練計画への同意を得た後に実施した。日常の生活において、自身で実施可能な活動や動作を継続・維持できるように生活リハビリを軸として、ユニット職員や他職種と連携を図り行った。

機能訓練指導員の個別的な関りとしては、居室内の環境設定、福祉用具の導入、離床機会の提供、車椅子のシーティング及びポジショニングの検討実施、基本動作能力の向上、ADL能力の向上、ユニット職員への介護指導などを行った。

② 介護予防活動や社会参加の取り組み

今年度も新型コロナウイルスの感染対策のため、外部講師を招いての介護予防活動（臨床美術・フラワーアレンジメント）やギター唄会などは活動を中止した。グループ体操も感染症対策の為、ユニット単位での介護予防サークル活動に切り替え、月1回利用者間の交流・季節の作品作りを実施した。

また、11月に作品展示会を実施し、ユニット作品、利用者個人作品、職員又は職員家族等の作品展示を行った。

③ 介護予防活動実施状況

新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師の受け入れを中止した。

介護予防活動の取り組みとしては、さくらぎ農園（種まき・苗植え・水やり・収穫）、習字、季節の行事（みずき団子作り・七夕飾り）などを実施した。

※ 介護予防活動実施状況については、【別紙5】のとおり

(14) 栄養・調理

① 栄養マネジメント

一人ひとりの身体状況、咀嚼・嚥下機能、嗜好・意向等や、多職種からの情報を基に栄養ケアマネジメントを実施し、利用者に合った食事の提供に努めた。

また、低栄養予防として、たんぱく質の目標量を 16.5%から 17.5%に引き上げた。

② 献立の工夫

給食栄養目標量に基づき献立作成を行い、食材も旬のものを取り入れ、冬季には土鍋料理も提供し食事からも季節が感じられるよう取り組んだ。

行事食については、長寿を祝う会の松花堂弁当やクリスマスケーキ、大晦日の松花堂弁当、年越しそばの他、祝日に合わせた行事食を提供した。寿司やちゃんこの提供は出前の形で実施した。

セレクトおやつは、季節や行事に合わせた内容で実施した。(下表参照)

また、岩手県食形態分類標準化推進委員会の分類表に基づき食形態コードを変更し、軟菜食、ゼリー食の定義や食材、調理法の見直しを行った。

③ 調理の工夫

食塩相当量については、だしわり醤油、だしわりポン酢の使用、手作り漬物の提供の他、漬物の頻度や麺類等変わりメニューの頻度を調整し、年間平均は 6.7g となり、昨年の 6.9g よりは 0.2g 減となったが、目標の 6.5g 未満は達成することができなかった。

④ 感染症等予防対策

食中毒や感染症予防については、日頃から食材・器具・調理場の衛生管理を徹底し、安全な食事の提供に努めた。

ノロウイルスによる食中毒予防対策として、栄養士及び調理師等のノロウイルス検便検査を2月に実施した。

衛生害虫駆除については、業者による点検を月1回実施し、ユニット等で衛生害虫が発生した場合も業者による点検及び必要時には薬剤散布をその都度実施し、衛生管理を徹底した。

⑤ グループホームの栄養指導

グループホーム職員に対する栄養指導については、月1回の栄養会議で施設全体の課題、利用者ごとの課題について、検討、助言を行った。

行事食（セレクトおやつを含む）の実施状況

年	月	食事の内容
R3	4	セレクトおやつ：ロールケーキ（いちご、日向夏、ショコラ、抹茶、安納芋）
	5	こどもの日：昼食（こどもの日ちらし、茶碗蒸し、他）、おやつ（柏餅） セレクトおやつ：ケーキ（いちごショート、ショコラ、レアチーズ、

		抹茶ティラミス、マロン)
	6	セレクトおやつ：ケーキ（白桃ムース、いちご、ショコラ、抹茶ティラミス、マロン）
	7	七夕：昼食（彩り丼、七夕そうめん、他）、おやつ（七夕ねりきり） 夏祭り：昼食（焼きそば、他）、おやつ（クレープ、お好み焼き） セレクトおやつ：アイスクリーム（バニラ、ストロベリー、チョコ） 土用の丑：昼食（お好みひつまぶし、夏おでん、果物）
	8	セレクトおやつ：クレープ（チョコレート、バナナ、いちご、バニラアイス、キャラメル） お盆：昼食（赤飯、煮しめ、ところてん、果物）
	9	敬老会：昼食（松花堂弁当）、おやつ（紅白ねりきり） 十五夜：昼食（月見そば、他）、おやつ（お月見ねりきり） セレクトおやつ：ドームケーキ（カスタード、こしあん、チョコレート）
	10	セレクトおやつ：ロールケーキ（栗、チョコバナナ、チーズ、黒蜜きなこ） ハロウィン：おやつ（ハロウィンどら焼き）
	11	寿司の日：昼食（にぎり寿司）
	12	セレクトおにぎり：昼食（かくやごはん、鶏そぼろ、チーズ、昆布） クリスマス会：昼食（オムライス、シーフードサラダ、フルーツヨーグルト）、おやつ（クリスマスケーキ・シャンメリー） クリスマス・イブ：昼食（ハヤシライス、ツナサラダ、果物、ジョア）、おやつ（クリスマス和菓子） クリスマス：昼食（シーフードピラフ、もみの木ハンバーグ、グリーンサラダ、果物）、おやつ（クリスマスケーキ） 大晦日：（昼食：松花堂弁当、夕食：年越しそば）
R4	1	正月料理 人日（じんじつ）の節句：昼食（七草粥、他） 成人の日：昼食（ネギトロ丼、他） セレクトおやつ：クレープ（バニラアイス、いちご、チョコレート、バナナ、あずき） 鍋料理：昼食（きりたんぼ鍋、他）
	2	節分：昼食（太巻き・にぎり寿司、いわしつみれ汁、他）おやつ（節分和菓子） 鍋料理：昼食（すき焼き鍋、他） バレンタインデー：おやつ（手作りココアカップケーキ） セレクトおやつ：蒸しパン（いちご、黒糖、抹茶、バナナ）
	3	ひなまつり：昼食（五目ちらし、茶碗蒸し、フルーツヨーグルト）、おやつ（桜餅） ちゃんこ鍋：昼食（梅ちゃんこ） セレクトおやつ：ケーキ（いちご、オレンジ、ベイクドチーズ、チョコレート、マロン） 鍋料理：昼食（水餃子鍋、他）

(15) 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

① 施設部門

課題	経営計画推進体制の確立		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営計画が日常的に意識できるよう、毎月の職員会議において職員への意識付けを行う。 ・中期経営計画の進捗状況の確認を職員会議等で発表し、職員に把握させるとともに職員の意見を集約し改善・向上につなげていく。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
職員会議での進捗状況の確認回数	四半期毎	(職員会議は月1回開催)	新型コロナ終息が見通せず、新たな中期経営計画の策定に至らなかった。

課題	利用者・家族の満足度と接遇マナーの向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳を重視したサービスが浸透するよう、接遇マナー、権利擁護に関する研修を実施する。 ・利用者、家族に満足度に関するアンケートと第三者委員による聞き取り調査を実施し、その結果を踏まえ、要因分析と改善策を全職員に徹底することで満足度の向上に取り組む。 ・利用者家族に対して、担当者会議・面会時の際に要望や意向を聞き取る。 ・広報「さくらぎだより」を定期発行し、家族とのつながりを強化することで相談しやすい環境作りに努める。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
利用者・家族へのアンケート実施回数	年2回	年1回	アンケートの実施は5月に家族向けに実施したが、利用者からの聞き取りが未実施となった。

課題	地域に根ざした施設運営の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町内会等地域住民に対して、介護福祉に関する教室、説明会等を開催し地域貢献につなげる。 ・施設行事に地域住民やボランティアの参加を募り交流を深める。 ・災害時や高齢者の捜索等緊急時にも積極的に協力する。 ・岩手県社会福祉協議会ボランティア（市民活動センター）を通じ、ニーズにあった新規ボランティアの確保を行う。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
地域住民向けの介護教室・講演会の開催実施	1～2回	1回	高松地区でこども食堂に合わせて介護相談会を開催した。
ボランティアの積極的受入	5回	0回	新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れを中止した。

課題	職員研修の充実と専門性の向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に定期的に施設内研修を実施し、勤務体制の状況によっては時間外での開催も検討する。 ・引き続き外部研修に積極的に派遣し、復命研修や他職員に対してOJTを行い、日常業務の中で実践していく。また、OJTでの指導を活性化させ共に気づきを向上させる取組みを行っていく。また、状況に合わせて施設内研修に外部講師を招聘する。 ・職員の資格取得を奨励し、積極的な情報提供を行っていく。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
施設内研修の開催回数	7回	7回	外部研修が中止となる中、法定研修は開催ができた。
職員の資格取得率（専門職員数に対する介護支援専門員・介護福祉士の取得割合）	60%	81%	医療的ケア第一号、第二号研修に6名、半固形栄養剤研修は3名受講し資格を取得した。 介護福祉士は、6名が合格した。

課題	会議、委員会の活性化と職員間の連携強化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議とリーダー会議の開催を分離し、協議内容を専門的に行うことにした。翌月の職員会議で内容報告と意見集約を行い、リーダー会議の議事録等資料を各部署及びユニットに配布するとともに申し送りでも周知徹底を図る。 ・事前の資料作成、配布を徹底し、協議事項を把握したうえで会議を開催し、業務に支障を来たさめよう効率的に実施する。 ・会議、委員会開催開始時間の徹底と終了時間を明確にする。 ・職員間の連携強化については、部署毎、ユニット会議の定期的開催と記録の徹底にICTを活用し、情報の一元化と共有を図る。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
部署毎、ユニット会議の開催回数	毎月1回	月1回	達成（協議内容を深堀できなかった。）

課題	権利擁護の推進		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止、虐待防止について、委員会の活性化を図り個々のケア場面について検証し、虐待防止と利用者の人権や安全に配慮したケアの改善に取り組む。 ・権利擁護及び身体拘束、高齢者虐待防止等について研修会を計画し、職員一人ひとりが関心を持ち、正しい知識を身に付けることで、尊厳の保持及び利用者本位のケアに向けて介護力、看護力を高める。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
身体拘束廃止・虐待防止に向けた研修実施	2回	3回	安全委員会委員が講師となり、目標を達成した。

権利擁護研修への派遣	1名	2名	主任看護師、介護士の2名が参加した。
------------	----	----	--------------------

課題	情報開示・情報提供の充実		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「さくらぎだより」については、利用者家族等の知りたい情報が発信できるよう、特養とGHの広報を統一し掲載内容を充実させる。 ・施設選定の参考となるべく、ホームページの掲載内容を検討・精査し、定期的な更新を行う。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
「さくらぎだより」の定期発行	年4回	年4回	行事が少ない中、委員で内容を検討し、目標の4回発行を達成できた。
ホームページの充実	掲載内容の定期的な変更	不定期に更新	面会制限のお知らせ等を随時更新する事ができたが、行事等については不定期であった。

課題	感染症対策の充実及び徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・感染委員会が主体となり、マニュアルの周知を行い、感染症予防対策や緊急時への備えを講ずるとともに、実情に即しマニュアルの見直しを適宜行う。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
感染症予防の周知と研修の実施	6回	12回	新型コロナ変異株による感染状況に合わせて適宜研修を実施し、目標達成した。

課題	計画的な修繕		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕整備する必要がある設備機器等について調査の上整理し、優先順位をつけ、計画的な修繕を行う。 ・設備機器の正しい使用方法を再確認し、異常の早期発見と報告を徹底する。 ・利用者の行為、職員の誤操作等による突発的な修繕については、発生要因の検証と再発防止策を講じ、突発的修繕の抑制を図る。 ・光熱費の削減を図るべく、省エネへの取り組みを推進する。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
設備機器使用方法の再確認	取扱いの周知徹底	良	(1)修繕計画が未整備であった。
異常の早期発見と報告の徹底		良	(2)電気契約変更に伴う省エネ対策は、目標を達成した。

課題	利用者の安全管理の徹底		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時マニュアルの周知を徹底し、感染予防、事故対策に努める。 ・協力病院や他職種と連携を図りながら、利用者の状態を把握するとともに体調不良の早期発見と迅速な対応を行い、重症化を防止する。 ・多職種との連携を図り情報共有をする ・「医療的ケア」研修に参加し、介護職員が技術・知識を習得し、利用者の安全を確保する。 ・利用者家族と情報を共有・提供し信頼関係を構築しながら、利用者の健康を維持できるように努める。 ・ヒヤリハット報告の徹底と再発防止に向けた取り組みを継続する。 ・インフルエンザ予防接種の実施、汚物処理実演研修により感染予防に努める。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
施設内研修の実施	7回	7回	目標達成
「医療的ケア」研修の参加	—	6名受講	全員資格取得

課題	施設利用者の身体機能低下予防と介護予防活動の活発化		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別実施計画に基づいた生活リハビリ・機能訓練の実施と定期的な評価と見直し。 ・カンファレンスや実施プラン等の利用者情報及び報告について、情報の共有化の徹底。 ・多職種の協力を得ながら、機能訓練ならびに介護予防活動の強化を図る。 ・機能訓練実施体制や方法を見直すことで利用者満足度の高い機能訓練・介護予防活動の提供を継続する。 ・誤嚥性肺炎の予防に向けた取り組みの実施・検討。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
(1)機能訓練実施プランの定期的な評価 (2)介護予防活動の見直し	3ヶ月毎	3ヶ月毎	目標達成
個別機能訓練の定期的な実施		月2回以上	目標達成
介護予防活動の回数確保	月2回以上	月平均5回以上	新型コロナウイルス感染症対策による閉鎖的生活環境の解消のため、積極的に取り組み目標を達成した。

課題	快適な食生活を送れるよう支援する		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養並びに心身の状況を考慮した栄養マネジメントの実施。 ・栄養ケア計画に基づき、栄養面、嗜好面、季節感を考慮したメニューを作成する。また、日々可能な限りユニットを回り、利用者から食事に対する意見を聴の上、記録し改善につなげる。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒や感染症予防については、職員の意識レベルを向上させるため、日常的な注意喚起と衛生管理の徹底に努める。また、調理従事者の月1回の定期的な便検査の他に、最低年1回はノロウイルスの検便検査を実施する。ノロウイルス流行時や発生時には、状況に応じて都度検査実施する。 ・刻み食については、食材や調理法の見直しを行い、食材の形を残した料理を提供する機会を設ける。食形態コードについては、「岩手県版食形態あてはめ表」が公表され次第、今後の食形態について検討・調整し、栄養課内だけでなく、各部署の認識の統一を図る。 		
目標項目	令和3年度		
	目標値	実績	目標対比
食事の減塩対策	1日当たり 6.5g未満	6.7g	達成できなかった。
情報共有・記録簿に関するルール作り	記録簿 の見直し	良	介護ソフトによる情報の共有化が図られた。

課題	特養の利用稼働率の維持・向上		
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラグの少ない施設入所を行うため、申込待機者リストの更新を常に行い、待機者の動向調査を行う等管理を継続する。 ・長期入院者については、家族・協力病院と連携し、空床期間をできる限り短縮する。又入院中の空床ベッドを有効利用し、短期入所の利用率アップにつなげる。 ・多職種との連携を密にし、空床を埋めるとともに継続利用につなげる。 ・申し込み段階において対象者の情報収集に努めるとともに、関連制度の情報提供を行い、より安心感をもって利用に結び付けることができるようにする。 		
目標項目	令和2年度実績	令和3年度	
		目標値	実績
施設入所稼働率	94.9%	98.0%	91.4%
			1日最大7名の入院を数え、長期入院退所も25名を数えるなどにより、目標を大きく下回った。 空床ショートは、延べ17日間の利用があった。

② 短期入所生活介護事業所部門

課題	短期入所生活介護事業所の利用稼働率の維持・向上		
目標項目	令和2年度実績	令和3年度	
		目標値	実績
短期入所稼働率	78.8%	90.0%	78.6%
			新規利用者は倍増したが、短期利用が多く前年度を0.2%下回った。

5. さくらぎの里居宅介護支援事業所の運営

(1) 利用稼働率

最大2.5名体制から2名体制となったものの地域包括支援センターからの紹介等による新規契約件数も増加となり、月平均件数57.6件（前年度対比+18.0件）となった。

※ 上記内容の根拠資料については、利用者状況【別紙2】のとおり

(2) 活動内容

- ① コロナ禍の中、利用者や家族からの相談に対し、訪問及び電話で対応を行った。新型コロナウイルス感染対策により、有料老人ホームに入所している利用者への訪問が難しく、施設職員からの聞き取りにより適宜対応した。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策として、定期の担当者会議は照会で行った。事前に十分な情報収集を行うことにより、情報共有の重要性を意識しながらケアマネジメントに努めた。
- ③ 十分なアセスメントを行い、利用者と家族の意向に基づいたケアプラン作成を行いながら、毎月のモニタリングで生活課題の改善の推移を確認した。

(3) 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

指 標	令和2年度実績	令和3年度		
		目標値	実 績	前期比
居宅介護計画作成件数 (月平均)	39.6件	54件	57.6件	2人体制になったが、関係機関からの紹介等があり、目標を達成することができた。

6. グループホームさくらぎの運営

(1) 利用稼働率

退所者は、死亡2名、特養入所3名及び長期入院1名の6名を数えたものの、年間稼働率は98.4%（前年度対比+8.8%）と大幅に改善した。

(2) 事業活動内容

利用者については、本人の自己決定を尊重し支援することを心掛け、食事や趣味、本人の希望に寄り添う介護を行った。排泄の自立支援、認知症の進行防止等、在宅生活からの継続性を重視した個別サービスを提供した。

加えて、認知症の症状や加齢に伴う筋力低下に伴い、歩行が安定せず転倒に繋がりがやすいことが要因になっている。対策の一つとして毎日軽体操を1回から2回に増やし、室内でも運動できるような工夫をした。

医療面では、利用者が良好な健康状態を維持できるよう、利用者個々の主治医や、施設の協力病院との連携を図り、緊急時など適切な対応を取ることができた。

(3) 利用者の身体状況等（令和4年3月31日現在）

区 分	平均介護度	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男 性	要介護 1.0	80.0 歳	80 歳	80 歳
女 性	要介護 2.2	87.2 歳	100 歳	68 歳
全 体	要介護 1.8	87.0 歳		

(4) 日常生活

① 援助方針

職員は、認知症の理解と対応についてカンファレンス、意見交換を行い認知症ケアの知識と経験を積み重ね、利用者一人一人の意思の確認と尊重が一番大切であることを意識して支援した。

② 安全管理の徹底

全職員が、リスクマネジメント研修を受講した。

また、ヒヤリハットの集計分析から、利用者個々のリスクを再チェックし、リスク管理につなげた。

③ 健康管理・感染症対策

新型コロナウイルス及びインフルエンザ感染症予防のマニュアルの見直しと予防対策を徹底し、共に罹患することなく健康に過ごすことができた。

④ 食事

区 分		【つばき】		【ぼたん】	
食事の提供時間		摂取状況			
朝食	7 : 3 0	全面介助	0 人	全面介助	0 人
		半介助	0 人	半介助	0 人
昼食	1 2 : 0 0	ほぼ自立	9 人	ほぼ自立	9 人
		自助具使用	0 人	自助具使用	0 人
夕食	1 8 : 0 0	食事形態状況			
		普通食	9 人	普通食	9 人
		刻み食	0 人	刻み食	0 人
※残食調査の実施状況 … 毎食実施					
※献立は、栄養バランスを考慮し、季節にあった食事や行事食を定期的に提供した。					

⑤ 入浴・排泄・移動

【つばき】

入浴の実施状況		おむつの使用等の状況		機器等の使用状況		
入浴回数	週2回以上	紙おむつ使用者	0人	機器名	施設内	
一般浴		リハビリパンツ使用者	7人	車椅子	操作自立	0人
対象者数	9人	尿取りパットのみ使用者	1人		操作介助	0人
内	ほぼ自立 2人	未使用者	1人		操作見守	0人
	半介助 7人			歩行器		1人
	全介助 0人	※日中、夜間共に随時確認の上、交換している。		杖		2人
入浴日	1日3人を入浴			独歩・ほぼ自立		6人
				介助歩行		0人

【ぼたん】

入浴の実施状況		おむつの使用等の状況		機器等の使用状況		
入浴回数	週2回以上	紙おむつ使用者	0人	機器名	施設内	
一般浴		リハビリパンツ使用者	6人	車椅子	操作自立	0人
対象者数	9人	尿取りパットのみ使用者	0人		操作介助	0人
内	ほぼ自立 0人	未使用者	3人		操作見守	0人
	半介助 9人			歩行器		0人
	全介助 0人	※日中、夜間共に随時確認の上、交換している。		杖		1人
入浴日	1日3人を入浴			独歩・ほぼ自立		8人
				介助歩行		0人

(5) 研修受講状況

① 外部研修

- ・新型コロナウイルス感染症対策研修
- ・キャリアパス研修
- ・科学的介護情報システム研修 (WEB研修)
- ・福祉サービス苦情解決研修 (WEB研修)
- ・ケアリスクマネジメント研修

② 内部研修 (特養との合同開催を含む)

- ・身体拘束研修 (2回)
- ・資質向上研修
- ・熱中症対策研修
- ・感染症 (食中毒) 対策研修 (吐物処理方法)
- ・虐待防止・権利擁護

(6) 行事の実施状況

月	日	行事名	開催場所	参加者
4	20	お花見ドライブ	高松の池	全利用者、職員

5	22	100歳を祝う会	施設内	全利用者、職員
	29	お楽しみ会	施設内	ぼたん利用者、職員
6	1	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
	23	つばき誕生会	施設内	つばき利用者、職員
7	7	七夕会	施設内	全利用者、職員
	24	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
	25	喫茶店レク	施設内	全利用者、職員
8	3	夏祭り・流しそうめん	施設内 庭	全利用者、職員
	10	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
	13	夏祭り・スイカ割	施設内 庭	全利用者、職員
		つばき誕生会	施設内	つばき入居者、職員
22	敬老を祝う会	施設内	全利用者、職員	
10	7	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
	15	つばき誕生会	施設内	つばき利用者、職員
	23	おやつレク	施設内	ぼたん利用者、職員
	28	芋煮会	施設内	全利用者、職員
11	15	ミニ運動会	施設内	全利用者、職員
12	15	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
	24	クリスマス会	施設内	全利用者、職員
	31	年越し食事会	施設内	全利用者、職員
1	2	つばき誕生会	施設内	つばき利用者、職員
	3	新年会	施設内	全利用者、職員
	8	つばき誕生会	施設内	つばき利用者、職員
	9	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
	11	みずき団子	施設内	全利用者、職員
	30	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員
2	3	節分	施設内	全利用者、職員
3	3	ひなまつり	施設内	全利用者、職員
	21	つばき誕生会	施設内	つばき利用者、職員
	27	ぼたん誕生会	施設内	ぼたん利用者、職員

(7) 運営推進会議の開催状況

日時	回数	出席者	記録	会議の主な内容
4/19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族 ・高松3丁目町内会長 ・盛岡市介護保険課事業所指定係職員 ・仁王・上田地域包括センター職員 ・介護保険に知見を有する方 ・グループホーム施設長 <p style="text-align: right;">計6名</p>	有	GH活動報告 事業実施内容 今後の活動予定 管理者・ケアマネ 新着任報告・挨拶
6/28	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族 ・高松3丁目町内会長 	有	GH活動報告

		<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市介護保険課事業所指定係職員 ・仁王・上田地域包括センター職員 ・介護保険に知見を有する方 ・グループホーム施設長 <p style="text-align: right;">計6名</p>		事業実施内容 今後の活動予定 各委員の意見集約等
8/23	3	書面開催	有	GH活動報告 事業実施内容 今後の活動予定 各委員の意見集約等 アンケート
10/18	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族 ・高松3丁目町内会長 ・仁王・上田地域包括センター職員 ・介護保険に知見を有する方 ・グループホーム施設長 <p style="text-align: right;">計5名</p>	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員の意見集約等
12/15	5	書面開催	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員アンケート 集約等
2/16	6	書面開催	有	GH活動報告 事業実施内容（入居状況） 今後の活動予定 各委員アンケート 集約等

(8) 防災の取り組み

6/14	総合訓練（夜間想定） 消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練 消火訓練（水消火器）	利用者 18人 職員 8人
3/11	総合訓練（日中想定） 消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練	入居者 18人 職員 7人

(9) 外部評価受審について

外部評価受審については、令和3年10月5日に評価実施機関である特定非営利法人いわての保健福祉支援研究会による評価実施を受審し、指摘事項は特になく、概ね良好の評価を受けました。

(10) 中期経営計画の「問題解決に向けた取組み」に対する実績及び評価

課 題	利用稼働率の維持・向上			
取組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムラグの少ない施設入所を行うため、申込待機者リストの更新を定期的に行い待機者の動向調査を行う等管理を更に強化する。 ・入院者については、家族・協力病院と連携し、空所期間をできる限り短縮する。 また、入院中の空室を有効活用するため、今後は短期入所も検討していく。 ・特養さくらぎの里と居宅介護支援事業所、他事業所との連携を密にし、常時情報共有していくこととする。 			
指標 (稼働率)	令和2年度実績	令和3年度		
		目標値	実績	前期比
施設入所	89.6%	98%	98.4%	入退所は多くありましたが、さくらぎの里との連携の下目標を達成できた。